

# 利益の適正分配を求める

## 魅力ある業界の発展を目指す

### セメント生コン関連22年春闘確認書締結



(4月号)

2022年4月30日  
発行所  
全日本建設交運一般  
労働組合  
関西支部

〒532-0011  
大阪市淀川区西中島7-12-9  
建交労会館3F  
TEL 06-6886-3915(代)  
FAX 06-6886-3917  
発行責任者  
藤川 拓



KURS (近畿生コン関連協議会) と一般社団法人西日本建設関連オーナー会の集合交渉は、昨年同様、コロナ感染対策を優先し、労使双方代表者による交渉を3月16日の22年春闘要求趣旨説明から第2回(3月23日)、第3回(3月30日)に行い、4月1日に22年春闘確認書の調印に至りました。

### 個社交渉で前進ある回答を

KURS・オーナー会の春闘合意にもとづき、関西支部では4月8日、建交労会館2階ホールにてセメント生コン関連職場代表者を集めて生コン部会を開催し、22年春闘の到達および個別交渉のすすめかたについて意思統一を行いました。

大阪広域協はこれまで生コン価格の適正化をすすめ、来年4月以降の受付分から3000円/m<sup>3</sup>の値上げをすることを発表し、セメント、骨材原材料の高騰、輸送運賃引き上げなどに対応し、関連業界および労働者にも適正な分配ができる仕組みを作っていくとしてい

### 22年春闘合意内容

経済要求の賃上げ・一時

金については、「各社の実情を踏まえ個社協議とする。

6年前の大同団結以降、市況対策の成功により協組加盟各社は生コン会社としての再建を果たしています。このような高収益をあげている現状のもと、今春闘においては、その利益を適正に分配することが求められます。



情を踏まえ個社協議とする。但し、各社は誠実に協議し円満解決を図れるように努める」としました。その他の合意事項は以下のとおりです。

賃金18000  
0円に到達させることとする。

②制度・政策  
要求の人員補充の問題については、いまだ業界で働く労働者の8割が非正規労働者であり、慢性的な人手不足解消に向けて確立されたモデル労働協約・モデル賃金を基本に、諸法律を順守することを基本に各社協議することとしました。

③その他、年間休日129.5日の確認(週休2日制)、定年制・雇用継続、新型コロナウイルス感染対策、各種ハラスメント対策、熱中症対策やKURS・オーナー会がすすめる運転手不足解消にむけて新人研修および人材育成

**合意後のすすめかた、継続審議事項についても確認**

また、春闘確認書の合意後のすすめかたをKURSより提起し、①22年春闘で合意されたガイドラインをオーナー会各社に周知徹底していただくこと

②KURSが提出した要請書「日々雇用保険制度の運用見直し」について正確に理解していただくよう、オーナー会各社に周知・徹底していただくこと

③労使労働者の処遇改善をはじめとする継続協議について、そのすすめ方についても協議していただくこと

④春闘合意後の個別交渉においても、円満解決が図れるように、関係各社に徹底していただくこと

以上の4点で、合意後のすすめかたについて確認しました。







# 政官癒着政治と大企業優遇を打ち破ろう

## 建交労大阪府本部トラックパレードー4月3日ー

建交労大阪府本部と大阪トラック部会は、4月3日(日)、時折強い風と小雨が降る中、トラック・ダンブ30台と宣伝カー3台で大阪市此花区の舞洲スポーツアイランド陸駐車場からなんば・敷津交差点までトラックパレードを行いました。

早朝から舞洲スポーツアイランド陸駐車場にパレードに参加するトラック・ダンブと宣伝カーが整列し、午前8時30分に組合員70人が結集して決起集会を開催しました。

集会は、大阪トラック部会・芦崎事務局長の司会進行で始まり、冒頭に主催者を代表して大阪府本部・前村執行委員長があいさつ。「春闘アンケートに基づき対象職場50中25職場で2月9日に要求書を提出、月額2万5000円→4万5000円の要求で今闘っています。建交労大阪府本部が組織する職場は圧倒的に中小零細企業で、個別の企業単位だけの交渉では、厳しい経営実態があるだけに、賃上げ交渉がなかなか進まない状況にあります」と述べるとともに、「コロナ不況に加えて、ロシアへの経済制裁が強められる中で、燃料高騰に拍車がかかり、あらゆる物価が軒並み引き上げられる中で闘われる。私たちの真の敵は、政官癒

着政治と大企業優遇である。また、労使協調路線をとる連合が低い賃上げ相場を作り、大幅賃上げが進まない大きな要因と言える。コロナ不況から経済を活性化させるには大企業の内部留保を労働者に還元し、大幅賃上げを実現しよう」と呼びかけました。

そして、来賓あいさつに駆けつけて頂いた大阪労連・菅議長、大阪交運共闘・庭和田事務局長、日本共産党・辰巳孝太郎前参議院議員(大阪選挙区予定候補)からあいさつを受け、一般社団法人府大阪トラック協会・滝口専務理事からのメッセージが寄せられたことが報告されました。

その後、大阪府本部・荻田書記長からコースと注意事項の説明。最後に大阪トラック部会・植西部会長の団結カンパロー三唱で決起集会を締めくくりました。この集会には物流ウィクリーが取材に訪れました。(3面につづく)

全日本建設交運一般労働組合大阪府本部  
御中  
全日本建設交運一般労働組合大阪トラック部会  
「4・3トラックパレード」開催メッセージ

平素は、当協会のご理解、ご協力を頂きまして、有難うございます。また、今般、トラックパレードが盛大に開催されますことを、お喜び申し上げます。さて、トラック運送業界を取り巻く状況は一段と厳しく、昨年の秋からの燃料価格高騰は、これに拍車をかけております。また、人材不足の問題や労働環境の改善に係る長時間労働是正の課題にも直面しており、中小企業に猶予されている「働き方改革関連法」が令和6年4月に施行されます。こうした課題を解決するためには、適正な運賃・料金を収受しなければ、根本的な解決はできません。このため、協会では、標準的な運賃の届出を促進する取り組みを展開し、「標準的な運賃」の内容や「告示された背景」について、荷主をはじめ、広く国民の方々にも理解を求めるPR活動を一層強化するとともに、荷主との交渉の際の資料提供や荷主交渉の成功例の共有など、会員サポートに全力を挙げて参る所存であります。今後とも、協会のご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げますとともに、貴団体のさらなるご発展とご活躍をご祈念申し上げます。

令和4年3月吉日  
一般社団法人大阪府トラック協会  
専務理事 滝口 敬介





# “大幅賃上げ実現へ” “ウクライナ侵略反対” を府民にアピール

大企業の内部留保を労働者に還元せよ



(2面のつづき)  
パレードは予定どおり午前9時30分に舞洲スポーツアイランド陸駐車を大阪府本部の宣伝カーを先頭に、関西ダンブ支部のダンブ10台、その後、大阪労連の宣伝カーと福岡運輸・関西合同支部のトラック9台、最後に関西支部の宣伝カーと此花支部の7台と関西支部の4台が続いて出発し、途

運輸・建設業の魅力ある職場をめざそう！

中、野田阪神駅前で行った関西支部の宣伝カーと各プロック仲間たちとエール交換を行い、そしてナンバ高島屋前で宣伝行動を行っていた大阪合同支部・神田支部の間ともエール交換をして「平和を守れ！ロシアのウクライナ侵略に反対！」「コロナ不況から経済を活性化、運輸・建設業の魅力ある職場をめざそう！」と府民にアピールしながら無事にパレードを終りました。



中心に14人が参加。野田阪神前での宣伝行動にも支部役員と各プロックから計10人が参加して組織宣伝行動に取り組み、全国トラック部会作成の「トラック運輸業2024年間題」のビラ配付を行うとともに、「平和を守れ！ロシアのウクライナ侵略に反対！」「コロナ不況から経済を活性化、運輸・建設業の魅力ある職場をめざそう！」と宣伝を行いました。





# 歴史を学び、次の世代へ伝えよう

## 建交労大阪府本部学習交流会

4月9日、10日の一泊二日で建交労大阪府本部学習交流会が、京都府綴喜郡の大正池グリーンで開催されました。参加者は全体で38人、関西支部からは20代・30代の組合員を中心に12人が参加しました。

### 全日土建から建交労へ変遷の歴史

1日目の第一部学習会は、前村委員長が「全日土建から建交労へ変遷の歴史」をテーマに約30分間の講義を行いました。

全日土建一般労働組合が1947年に結成され、1953年に全日本自由労働組合(略称・全日自労)へ改名したことや、1961年頃に35万人となった矢対労働者のうち、全日自労に23万人が結集し、労働者階級の闘いをはじめ、地域のさまざまな民主運動、平和運動に重要な役割を果たすようになったこと。1959年、石炭から石油へのエネルギー政策の転換で、炭鉱の縮小・閉山が強行され、



### 組合活動の大きな力 支部ホームページを活用しよう

関西支部の様々な取り組み、ニュース、ビデオ画像などは支部のホームページから閲覧・ダウンロード・印刷ができます。「建交労関西支部」で検索。以下のQRコードからもアクセスできます。



1980年には、全日自労、全国建設、建設・資材一般労働組合協議会に加盟する33単産労働組合が「組織統合基本文書」に基づいて組織統合し、全日自労建設一般労働組合(略称・建設一般全日自労)を結成。最後に建交労に組織統合した後、INAXメンテナンが労働者性を争って最高裁で逆転勝利を納めた歴史と闘いを学びました。

### 全自運・運輸一般・建交労の歴史

第二部学習会は、鷹巣副委員長が「全自運・運輸一般・建交労の歴史」をテーマに約30分間の講義を行いました。

1960年に全自運が結成され、結成時の職場が現在も存在し、活動を続けていることなど説明。そして、1977年に小樽一般・函館合同労組・静岡中小労連が組織統合し、1977年に運輸一般が結成。

1983年、運輸一般時代に武建一が関西地区生コン支部の約半数近い組合員を引き連れ、運輸一般から分裂した歴史や、建交労に

なってきたからエアウオーター闘争・西神戸闘争で職場組合員の解雇をわずか1ヶ月程度で撤回させ、職場復帰させた闘いなどを説明。現在の建交労大阪で組織している各支部の現状などを報告しました。

### 交流会で職場問題・悩みを語り合う

交流会は午後3時30分から開始され、大阪合同支部・大西副委員長の手料理で焼き肉・焼きそば・おで



### 労供事業部員募集

生コンやトラックの職場などで日々雇用しながら、労働条件改善・権利確保などに取り組む労働組合です。詳しくは、以下の電話番号でお問い合わせください。  
電話番号 06-6886-3311



んなどに舌鼓をうちました。交流会の途中に関西支部・高橋副委員長が差し入れを持って参加。大阪全体、また交流会で様々な職場の問題や悩みなどを打ち明け合うなど、この感想を聞き、大阪府本部の団結強化に繋がりました。翌日は、朝食後部と交流が出来て、自分の知らないことも聞けて良かった。

